

最先端分析装置と技術者

貸します

100万倍の電子顕微鏡も完備



環境分析 オオスミ

環境分析を手掛けるオオスミ（横浜市瀬谷区五貫目町、☎045・924・1050）は、同社が誇る最先端分析装置と技術者を貸し出すサービス「ゆあらぼ」を始めた。国内でも所有する企業が少なくとされる超高性能の電子顕微鏡。これを完備したオオスミ本社内の実験室を有償で使ってもらい、開発や不良品の原因究明、異物混入の分析などをサポートする。

「ゆあらぼ」で使用する超高性能の電子顕微鏡は、100万倍という“ナノ”の世界までをモニターで映し出せる。

「まるで自分の研究室のように、当社の最先端施設が使えます」と大角武志社長。装置を扱えるオペレーターがサポートするほか、分析の専門家たちがアドバイスしていく。

業種を問わずあらゆる企業の利用を想定している。利用料は半日で基本価格8万円（税別）から。

「ゆあらぼ」の超高性能の電子顕微鏡は、も

ともとアスベスト分析に活用しているものだが、稼働しない日の有効活用を考え、同サービスを始めたという。

「秘匿性の高い開発やクレーム対応などの原因究明は、委託先だけに任せるとはいきません。自社に分析室がない中小企業には最適です」と大角社長は話している。

なお、オオスミは、水質や土壌、アスベストといった分析事業をはじめ、環境アセスメント、大気汚染調査など、各種の環境分析を受託する企業。

設備持たない
中小の
分析
をサポート

かながわ経済新聞
2015年7月号